

2011年度

科目名	心理学A			
担当教員	広沢 俊宗			
配当	文 1		コード	13007
開期	前期	講時	月曜日3限	単位数 2
授業テーマ	大学生生活の心理学			
目的と概要	高校から大学へスムーズに移行し大学生生活に適応するためには、まず、両者のちがいを十分に認識する必要がある。この科目では、「大学での学び」、「自分という存在」、「他者や社会との関わり」について、心理学的視点から学んでいくことにより、大学生生活への適応を容易にし、さらに充実させることを目的とするものである。			
成績評価法	小レポートなどの平常成績(20%)と最終試験(80%)をあわせて、100%で評価する。			
テキスト	藤本忠明・東正訓／ワークショップ大学生生活の心理学／ナカニシヤ出版 適性開発研究会編／『JOHO—CAB検査』／ 情報センター			
参考書	藤本忠明・東正訓／ワークショップ心理学／ナカニシヤ出版			
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	授業を1／3以上欠席すると、最終試験の受験資格を喪失するので注意すること。 なお、授業で学習するテキストの範囲を必ず事前に読み、講義に臨むこと。			
講義計画				
1. 心理学と大学生生活 心理学という学問領域について理解し、大学生生活との接点を考察する。 2. 学びの心理学 (1) 学ぶ技術を再点検しよう。 3. 学びの心理学 (2) 学習特性を自己分析しよう。 4. 学びの心理学 (3) 効果的な学習法を身につけよう。 5. 自己の心理学 (1) 私たちは世界をどのように認識しているのか。 6. 自己の心理学 (2) どのように成長してきたか-他者との出会いのはじまり- 7. 自己の心理学 (3) どのように成長してきたか-社会性と共感性の発達- 8. 自己の心理学 (4) C A B 検査を実施することによって自分の性格を分析・理解する。 9. 自己の心理学 (5) 大学生の心の健康について理解する。 10. 他者と社会とのかかわり (1) 出会いから友人関係が深まるまでの過程を理解する。 11. 他者と社会とのかかわり (2) 集団と個人の関係を考察する。 12. 他者と社会とのかかわり (3) 悪徳商法にひっかからないために 13. 他者と社会とのかかわり (4) 交通事故に遭わないために 14. 他者と社会とのかかわり (5) 卒業後の進路を考えよう。 15. まとめ 今までに学んだ内容から、大学生生活について再考する。				